

伊佐市立中学校再編成 実施計画

伊佐市教育委員会

平成22年11月 策定

平成23年 9月 変更

1 伊佐市立中学校再編成の実施に際して

(1) 教育委員会が目指す学校教育について

伊佐市教育委員会は、「地域と学び、未来に生かす人づくり」を基本目標に、「伊佐らしい魅力ある教育、文化の創造」を基本方針として、将来を自ら切り拓いていく人づくりを目指して様々な取り組みを行っています。

そのため、伊佐市教育委員会は伊佐市の「第1次伊佐市総合振興計画」の基本構想「大地の恵みを 人が奏でる だれやめの郷 ～ 交流と協働で創る風味あるまち・むら文化～」を踏まえ、時代を超えて変わらない価値あるものを大切にし、社会の変化に柔軟に対応する「伊佐のふるさと教育」を推進しています。

具体的推進事項の一つでもあります、「生きる力と豊かな感性を育む学校教育の充実」を図るため、児童・生徒の教育環境を整え、きめ細やかな指導により「確かな学力」を身につけることはもちろん、様々な体験・集団活動を通じて児童生徒が互いに切磋琢磨しながら、思いやりや社会性などの「豊かな人間性」「健やかな体」を育てられるような学校教育を目指します。

(2) 中学校再編成の必要性について

現在本市におきましては、人口の減少や少子化に伴い児童生徒数の減少傾向が進行しており、市周辺部の学校の小規模化が進み市中心部の学校との教育環境に大きな相違が生じてきている状況であります。

そのために小規模校においては、日々の授業内容を適切に指導するようさまざまな工夫を行っているところです。今後の少子化の進行によっては、子どもたちが学習指導要領の内容を十分学習できない事態も考えられます。

このような現状を改善し、また「伊佐市の児童生徒たちによりよい教育を受けさせる」という教育環境の維持向上を図る観点から、学校規模の見直しを早急に実施する必要があると考えています。

小学校においては、伊佐市の「第1次伊佐市総合振興計画」の政策のひとつでもある「市民だれもが活躍できる自治づくり」、具体的にはコミュニティの醸成・定着を図るために、再編成は当面見送ります。

中学校においては、授業等が教科担任制で行われていますが、専科教諭が配属されないなど、学習や諸活動の指導に加え、学校運営上も一層の困難が予想されます。

このようなことから、学校規模の見直しを行い、中学校の再編成を検討・実施してまいります。

2 中学校再編成の基本方針について

伊佐市教育委員会が目指す教育環境を実現するため、中学校再編成についての基本的な方針を次のように設定します。

○ 基本方針

学校再編成についての基本方針は、「生徒にとってどうか」という視点を基本に据え、伊佐の生徒たちが「生きる力」を身に付け、互いに磨きあい将来郷土伊佐を誇りと思うことができるように、再編成を実施し「よりよい教育環境」を整えるものとする。

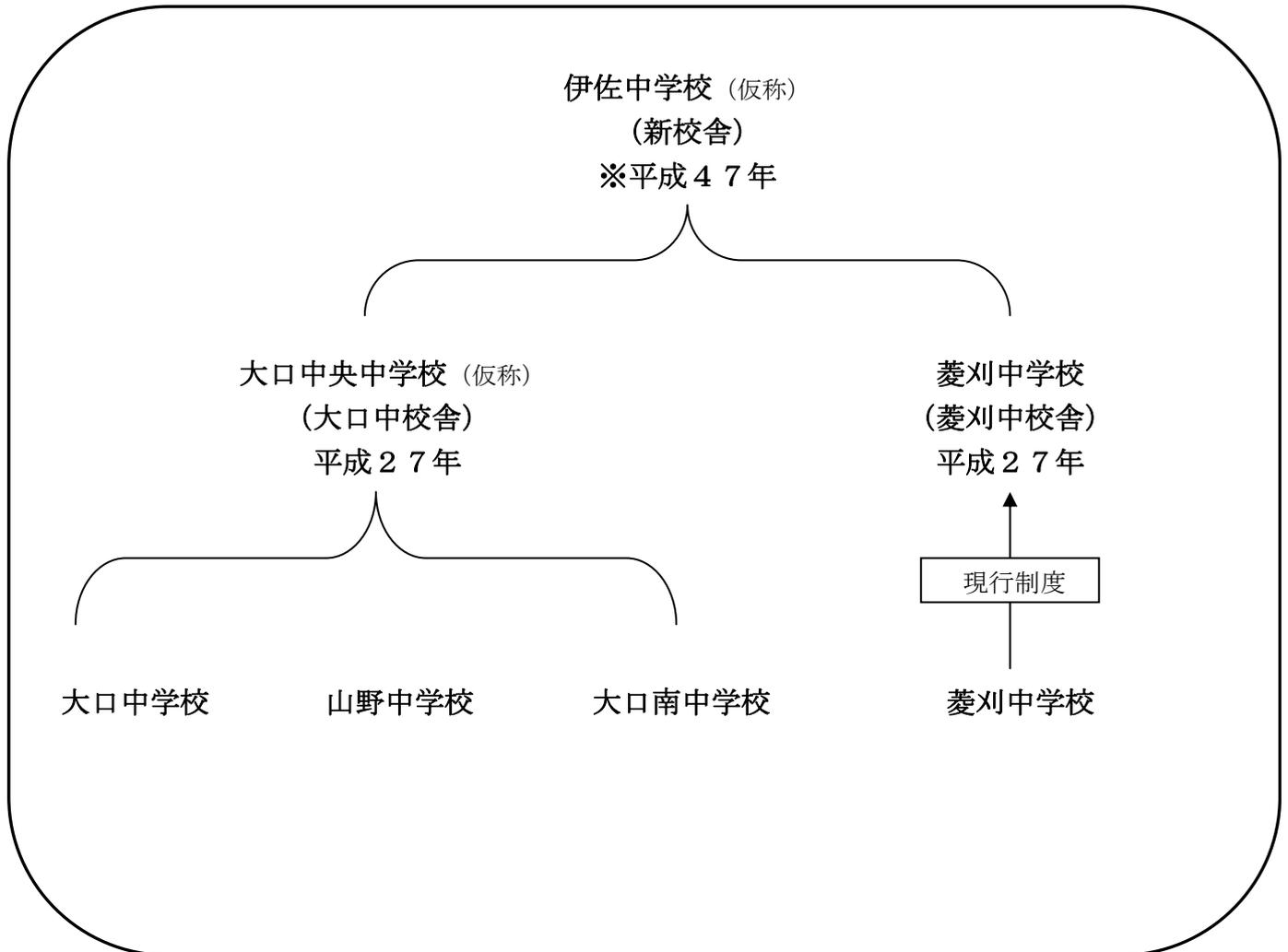
○ 再編成整備指針

- 1 中学校再編成については、第一次再編成・第二次再編成の二段階方式とする。
第一次再編成は、学校規模について、各学年2学級の学級数を維持する。
第二次再編成は、国が示している適正な学級数「12学級以上18学級」を目指す。
- 2 再編成により学校及び校区が変更になった地域で、通学距離等に著しい変更が生じた場合は、スクールバスで対応する。
- 3 校舎・校地の跡地利用については、地域と連携を図りながら利活用を考えていくものとする。

3 再編成の構成について

中学校の再編成を次のとおりとします。

中学校再編成年次計画表



※第二次再編成の時期については、平成47年度と限定せず、生徒数の推移を考慮しながら決定する。